

「何学んだか問い続ける」

●福島から避難

「天にものぼる気持ち。これが本当の判断だと思ふ」。申立人の一人、青田勝彦さん(74)は、大津市IIは大津地裁前で差し止め決定を聞き、「万歳と叫んだ。東日本大震災の6日後に福島県南相馬市から宮城県柴田町に避難した。南相馬の自宅は東京電力福島第一原発から23キロ。2カ月後、妻の恵子さん(66)の滋賀県に住む友人の勧めで引越を決断した。

引越してまもなく、比良山系の向こうに福井県のあるところをふと思いついた。「この近くにも原発がある」。眠れない夜がまた、増えた。

元々高校の英語教師だった。集会で原発の危険性について聞き、四十数年前、反原発運動を始めた。大津に来てからは避難者の立場で130回以上講演。2011年に福井県で原発の再稼働を禁止する仮処分を申

立てに加わった。妻と30、40代の娘3人との5人暮らし。娘は内部被曝のことを考えると結婚や出産も不安だと話す。福島からの送られてきた家の写真を見ると、除染のために庭の土が掘り返された。まるで他人の家のように、見るのがつらい。まだ一度も帰宅していない。

決定を知らせるため、福島の知人に電話をかけた。「負けてばかりだったけれど、40年間運動をしてきて本心に良かった。最近では、放射性物質を含む水漏

れなど、高浜4号機で続いたトラブルに怒りがこみ上げていた。「福島から何を学んだのかと、今後問い続けたい」

●大津市の母親

「原発から自然と琵琶湖を守りたい思いで5年間、闘ってきた。大津市のパトナ今村真理子さん(62)は「東日本大震災から5年となるのを前に素晴らしい決定が出た。信じられない気持ち」と涙を浮かべて喜んだ。夫の転勤を機に岡山から

移住し34年。仮処分申請に参加したのは長女30と長男30の故郷を守りたいとの思いからだった。20代のころから原発への問題意識があった。使用済み核燃料の処理方法が決まらぬまま運転を続けていていいのかと。ただ子育てなど日常生活に追われ、行動に移すことはなかった。東京電力福島第一原発の事故で突如動かされた。事故の映像を見て福井県の原発が頭をよぎった。自宅は高浜原発から約50キロ。明日は我が身。いま動かなくしては。大津地裁への仮処分申請の動きがあることを知り、申立人に加わった。

琵琶湖が一望できる自宅ベランダで、家族でバーベキューをするのがささやかな楽しみだ。今村さんは「湖はこの土地に住む人の誇り。子どもたちの帰る場所を守るのが親の責任なんです」と話す。

●元愛荘町長

高浜原発から南東に約75キロ、人口約2万人の滋賀県愛荘町。村西俊雄さん(76)は、2014年まで2期8年、町長を務めた。「原子力規制委員会が取り上げない避難計画に関しても、司法が取り上げてくれた。あらゆる関係者の思いに沿ってくれたと感じる」

昨年4月、申立人として大津地裁で意見陳述した。「住民の命と安全を守る避難計画について、規制委の新規制基準では審査の対象になっていない。世界最低の基準と言わざるを得ない」

意見陳述では住民の避難計画づくりが原子力災害対策特別措置法で、原発からおおむね30キロ圏内の自治体に義務づけられていることに触れた。高齢者、障害者の避難から広域避難先の確保、ヨウ素剤配布など、あ

まりに市町村が対応しなければならぬ課題が多く、実行可能な計画は立てられないと指摘。「住民の安全を確保するのが、市町村の役目。でも、避難計画を市町村任せにするのは、負担が重すぎる」と訴える。(島崎周、奥令)

「原発ゼロに」

小泉元首相

「この決定は当然だ。原発ゼロに切り替えるべきだ。やればできるんだから」。小泉純一郎元首相は9日、高浜原発3、4号機の運転差し止めを命じた大津地裁の決定に賛同した。大阪駅前でも号外を手にした主婦金政桂子さん(67)は「絶対安全と言えない中で動かすべきではない。決定は日本の未来にとって前向きなもの」と話した。

高浜4号機の緊急停止

電流の設定値にミス

関西電力は9日、トラブルで緊急停止した高浜原発4号機について、電圧を上げる変圧器の保護機器に設定ミスがあったとの調査結果を発表した。関電は同日、原因と再発防止策をまとめた報告書を原子力規制委員会に提出し、地元にも報告した。

2月26日に再稼働した高浜4号機は、発送電の作業が止まり、原子炉も自動停止した。関電によると、フル出力時の30%以上の電流が変圧器周辺に流れると、発電機が止まる設定になっていた。だが、実際に流れる可能性

津地裁の決定を受け、安倍政権に原発再稼働をやめるよう訴えた。朝日新聞の取材に答えた。

本社が号外配布

大津地裁の仮処分決定を受け、朝日新聞は大津市のJR大阪駅と天王寺駅の周辺2カ所でも号外を計2千部配った。大阪駅前でも号外を手にした主婦金政桂子さん(67)は「絶対安全と言えない中で動かすべきではない。決定は日本の未来にとって前向きなもの」と話した。

のある電流の最大値の見積もりをしておらず、数値が過小に設定されていた。関電の調査で、実際には50%の電流が流れる可能性があることがわかった。

関電は今後、機器の設定値を90%に変える。高浜4号機内にあるその他の保護機器や警報機器など36カ所でも、設定値が妥当かを再度検討するといふ。

規制委は関電の報告書を精査し、内容が妥当かを踏査する。ただ、規制委と福井県、高浜町が報告の妥当性を認めても、大津地裁の高浜3、4号機運転差し止め仮処分決定により、再稼働はできない。(伊藤誠毅)



●青田勝彦さん(左)今村真理子さん(右)いずれも大津市

琵琶湖の将来守った

2/10 朝日

原発 新基準に疑問符

新規制基準と基準地震動

新規制基準は福島第一原発事故をきっかけに安全が確保されるまで、原子力規制委員会が、基準地震動を最大規模の揺れ、自然現象の元となる。原発付近の活断層、地質の記録などを基に、自然現象の不確かさも織り込んで決められる。

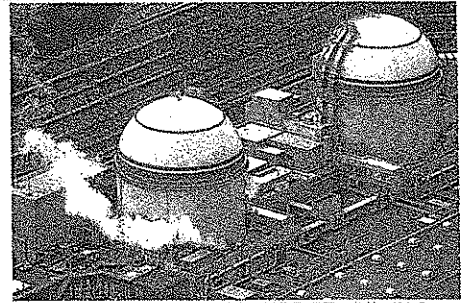
新規制基準は福島第一原発事故をきっかけに安全が確保されるまで、原子力規制委員会が、基準地震動を最大規模の揺れ、自然現象の元となる。原発付近の活断層、地質の記録などを基に、自然現象の不確かさも織り込んで決められる。

「基準地震動は、原発の危険性を評価するための重要な指標である。新規制基準では、過去の地震動の記録だけでなく、最新の地質学的知見も取り入れられている。これは、より安全な原発運営を可能にするための重要なステップである。」

新規制基準は福島第一原発事故をきっかけに安全が確保されるまで、原子力規制委員会が、基準地震動を最大規模の揺れ、自然現象の元となる。原発付近の活断層、地質の記録などを基に、自然現象の不確かさも織り込んで決められる。

福島の原因究明「道半ば」 地裁決定 安全立証 関電に課す

福島第一原発事故の原因究明は「道半ば」である。地裁決定により、関電に安全立証の義務が課せられた。これは、事故の真相を究明し、国民の安全を確保するための重要なステップである。



関西電力高浜原発3号機（左）と4号機（福井県高浜町、本社へりから）

判決・決定日	判決・決定	新規制基準	基準地震動
14年5月21日 【東京地裁】 原告側敗訴 原告側敗訴 原告側敗訴	新規制基準の適用を認めず、旧基準を適用するよう判決	基準地震動は安全確保に必要と認められていない	基準地震動を超える揺れは発生しない
15年4月14日 【東京地裁】 原告側敗訴 原告側敗訴 原告側敗訴	新規制基準の適用を認めず、旧基準を適用するよう判決	基準地震動は安全確保に必要と認められていない	基準地震動を超える揺れは発生しない
15年4月22日 【東京地裁】 原告側敗訴 原告側敗訴 原告側敗訴	新規制基準の適用を認めず、旧基準を適用するよう判決	基準地震動は安全確保に必要と認められていない	基準地震動を超える揺れは発生しない
16年12月24日 【東京地裁】 原告側敗訴 原告側敗訴 原告側敗訴	新規制基準の適用を認めず、旧基準を適用するよう判決	基準地震動は安全確保に必要と認められていない	基準地震動を超える揺れは発生しない
16年3月5日 【東京地裁】 原告側敗訴 原告側敗訴 原告側敗訴	新規制基準の適用を認めず、旧基準を適用するよう判決	基準地震動は安全確保に必要と認められていない	基準地震動を超える揺れは発生しない

新規制基準は福島第一原発事故をきっかけに安全が確保されるまで、原子力規制委員会が、基準地震動を最大規模の揺れ、自然現象の元となる。原発付近の活断層、地質の記録などを基に、自然現象の不確かさも織り込んで決められる。

新規制基準は福島第一原発事故をきっかけに安全が確保されるまで、原子力規制委員会が、基準地震動を最大規模の揺れ、自然現象の元となる。原発付近の活断層、地質の記録などを基に、自然現象の不確かさも織り込んで決められる。

避難計画 関電関与求める

避難計画の策定に原子力規制委員会が関与することを求める。これは、事故発生時の迅速な対応と国民の安全確保のために必要である。

ひと

谷手原大崎町で金橋氏の「生き証人」を記録する。高橋英悟さん(43)は、事故発生時の貴重な証言を提供し、事故の真相を究明するために尽力している。



高橋英悟さん(43)

規制委の認識 従来通り

原子力規制委員会の認識は従来通りである。新規制基準の適用には、十分な科学的根拠が必要である。

受け入れ自治体「合理的」

新規制基準を受け入れる自治体は「合理的」である。これは、国民の安全と環境保護の観点から必要である。

避難計画 関電関与求める

避難計画の策定に原子力規制委員会が関与することを求める。これは、事故発生時の迅速な対応と国民の安全確保のために必要である。

3/10 JAA